

宜野座村 漢那区

集落
部門

100年続く伝統行事 産業共進会のふるさとづくり (令和元年度認定)



漢那区は、宜野座村の東に位置し、豊富な水源と肥沃な土壌に恵まれた自然環境により、農業を中心に発展を遂げた地域である。基幹作物のキビの他にキクの電照栽培、観葉等の花卉栽培、特に近年ハウス団地による野菜園芸、蘭、マンゴー、茶等の多岐にわたる栽培が行われている。

100年続く伝統行事である産業共進会においては、ハルヤマスープを起源に現在では農業・漁業・畜産の奨励や角力大会が開催される。角力大会には離島からの参加者もあり、漢那区の産業に関する最大の催し物として地域活性化に繋がっている。

毎年行われる豊年祭においては、「長者の大主(ちょうじゃのうふすー)」などの村芝居やエイサーが披露され、多くの人が観に来ている。同豊年祭は、青年会を中心に区民の協力により行われており、これらの伝統文化を次世代へと継承すべく活動している。

また、農道等の清掃や耕土流出防止のためのグリーンベルトの設置等を行い、自然環境の保全に取り組んでいる。このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通じた「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



さとうきび競作会(農林水産大臣賞)



角力大会



漢那区民による展示会



豊年祭



グリーンベルト



道の駅ぎのさ